

社会科学

科目番号	2F-5	科目名	現代中国経済事情
大学名	長崎ウエスレヤン大学	担当教員	登り山 和希(現代社会学部 准教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	月曜日
教養・専門別	専門	時限	1時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月9日(月)～平成30年7月24日(火) ※7/24曜日振替
授業定員	80人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	8時50分～10時20分(90分)「毎週 月曜日」
履修年次	3年次以上	試験・評価方法	学習態度等総合評価する。
開講場所	長崎ウエスレヤン大学	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎ウエスレヤン大学 教育企画課 TEL 0957-26-8274 FAX 0957-26-2063		

科目内容

中国が改革・開放政策を実施してから、すでに19年余りも経過した。この間、経済面で大きな発展を遂げたのは事実である。そこで中国が改革・開放政策を取り入れた前・後、この国はどのように変化したのかについて、最新の情報を紹介しながらその方向を探る。

科目番号	2F-6	科目名	障害者福祉論
大学名	長崎ウエスレヤン大学	担当教員	金 文華(現代社会学部 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月5日(木)～平成30年7月19日(木)
授業定員	80人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時30分～12時00分(90分)「毎週 木曜日」
履修年次	2次以上	試験・評価方法	テストまたはレポートにより評価。
開講場所	長崎ウエスレヤン大学	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎ウエスレヤン大学 教育企画課 TEL 0957-26-8274 FAX 0957-26-2063		

科目内容

障害者差別はなぜ存在するのか、障害とは何か。さらに、障害者(身体障害・知的障害・精神障害)の置かれている状況を知り、障害者に必要なことは何なのかを考える。特に障害者とリハビリテーションスポーツについて重点に講義する。

科目番号	前期 2F-7 / 後期 2F-18	科目名	高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ
大学名	長崎ウエスレヤン大学	担当教員	中野 伸彦(現代社会学部 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	前期 金曜日 / 後期 月曜日
教養・専門別	専門	時限	前期 2時限/後期 4時限
単位数	各2単位	開講期間	平成30年4月6日(金)～平成31年1月28日(月) ※1月23日曜日振替
授業定員	80人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	前期:10時30分～12時00分(90分)「毎週 金曜日」 後期:14時50分～16時20分(90分)「毎週 月曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	受講態度及び論文形式の試験
開講場所	長崎ウエスレヤン大学	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎ウエスレヤン大学 教育企画課 TEL 0957-26-8274 FAX 0957-26-2063		

科目内容

超高齢社会を間近に迎え、介護需要の飛躍的な高まりと介護保険等の諸施策の登場によって高齢者問題への関心は昨今、急激な高まりをみせている。その将来展望と課題を見据えつつ、本講義ではケアする側とされる側の双方に求められる人間関係(尋ね=学びの関係)の有り様を検証していく中で支えの原則を明確にし、豊かな老後を生きるための知恵を模索する。そこで全体を①<老い>をみつめる②<老い>を支えるの2部構成とし、前半は<老い>にまつわる様々な相貌に触れ<老い>の世界を私達の日常性に深く関わる社会的現実へと啓いた後、その学びを後半の<老い>を支える視点へと繋がっていく。

科目番号	2F-17	科目名	児童福祉論
大学名	長崎ウエスレヤン大学	担当教員	入江 詩子(現代社会学部 教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	水曜日・3時限
教養・専門別	専門	時限	学生募集ガイドの(月曜日・3時限)より変更になっています
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月3日(水)～平成31年1月16日(水)
授業定員	80人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	13時20分～14時50分(90分)「毎週 水曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	レポート・テスト30%・課題図書40%・振り返り票30%
開講場所	長崎ウエスレヤン大学	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎ウエスレヤン大学 教育企画課 TEL 0957-26-8274 FAX 0957-26-2063		

科目内容

児童福祉の基本理念は、「子どもの基本的人権を尊重し、人間的な環境のもとで健やかに生まれ、成長・発展していくようにすること」である。一見では中々分かりやすいように見えるが、実際にはかなり曖昧で難しい理念である。そこでこの授業では、この児童福祉の理念をもっと深く理解するために、子どもの基本的権利をとりあげ、この視点から子どもを取り巻く現状、子どもが健やかに育つための環境、そして、子どものための施設と法律を考える。従って、授業の具体的な目的としては、この児童福祉の理念、現代の子どもの問題や課題を解決するための政策を理解することである。

科目番号	2F-19	科目名	精神障害者の生活支援システム
大学名	長崎ウエスレヤン大学	担当教員	山口 弘幸(現代社会学部 准教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	4時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月4日(木)～平成31年1月24日(木)
授業定員	80人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	14時50分～16時20分(90分)「毎週 木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	授業態度50%・ペーパーテスト50%
開講場所	長崎ウエスレヤン大学	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎ウエスレヤン大学 教育企画課 TEL 0957-26-8274 FAX 0957-26-2063		

科目内容

精神保健福祉論は、精神保健福祉の理念と意義、欧米とわが国の歴史、対象者の理解、権利擁護、精神保健福祉法を中心とした法制度及び国連施策、精神保健福祉士の業務などを柱とする精神保健福祉専門科目の中核たる科目である。本講義では、他の障害にも共通する障害者の理念、障害及び障害者の見方、障害者福祉の基本施策、精神障害者処遇の歴史、精神障害者の権利擁護、精神保健福祉士の理念と意義などの基礎的な理解をねらいとする。